

第32回全国高等学校総合文化祭島根大会 2007.7.31 提案

放送部門参加要領

- 1 目的 この部門の開催目的を次の通りとします。
- (1) 全国の高校生が、作品の制作や発表を通して全国の仲間と交流を深める。
 - (2) 作品や原稿の作成を通して、自らの郷土を新たな視点でもう一度見つめ直す。
 - (3) 美しい日本語を、アナウンス・朗読・ナレーションで表現することにより、言葉による表現のすばらしさを再認識する。
- ※「郷土」とは、学校所在地のある都道府県とします。

- 2 日時 平成20年8月9日（土） 9:00～18:00（予定）
8月10日（日） 9:00～18:00（予定）

- 3 会場 伊勢崎市文化会館
〒372-0014 群馬県伊勢崎市昭和町 3918 番地 TEL 0270-23-6070

- 4 参加資格 全国高等学校総合文化祭開催基準規定第10条に基づき、参加資格を有する者とします。

5 部門および
発表者・
出品数

(1)	アナウンス部門	3名
(2)	朗読部門	3名
(3)	オーディオピクチャー（AP）部門	1作品
(4)	ビデオメッセージ（VM）部門	2作品

※開催県については、それぞれの部門について2倍まで可とします。

6 発表・出品
基準・規格

(1) アナウンス部門

- ア 郷土の話題を全国の高校生に伝える内容の原稿を作り発表してください。
- イ 発表時間は、学校名、氏名を含めて1分30秒以内とします。
- ウ J P E G形式のデジタル静止画像（5枚以内）を併用することができます。
- エ デジタル静止画像は、パソコンからビデオプロジェクター1台で投影するものとします。
- オ デジタル静止画像の投影は、台本に従って開催県が担当しますが、希望により発表校で行うこともできます。
- カ デジタル静止画像のデータは、CD-Rにより提出してください。
- キ BGMは使用できません。

(2) 朗読部門

- ア それぞれの郷土にゆかりのある作家または作品の中から原文のままを一部選んで原稿としてください。
- イ 発表時間は、学校名・氏名・作者名・作品名を含めて2分以内とします。
- ウ MDによる効果音やBGMを併用することができます。
- エ 再生と音量調節は、台本に従って開催県が担当しますが、希望により発表校で行うこともできます。
- オ デジタル静止画像は使用できません。

(3) オーディオピクチャー (AP) 部門

- ア 郷土に関する話題を取り上げた作品にしてください。
- イ MDによるステレオ音声とJPEG形式のデジタル静止画像(50画像以内)を併用する作品とします。
- ウ ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問いません。
- エ 発表時間は、5分以内とします。

(4) ビデオメッセージ部門

- ア 郷土に関する話題をとりあげた作品にしてください。
- イ 自校オリジナルのビデオ作品とします。
- ウ 発表時間は、5分以内とします

7. 規 格 (1) デジタル静止画像 (アナウンス部門)

- ア ビデオプロジェクターにより、パソコンからJPEG形式のデジタル静止画像(5画像以内)を投影するものとします。
- イ ビデオプロジェクターを1台使用できます。
- ウ デジタル静止画像の投影は、台本に従って開催県が担当しますが、希望により発表校で行うことも出来ます。
- エ デジタル静止画像のデータはCD-Rにより提出してください。
- オ 静止画像のサイズは(800×600以上)1600×1200ピクセル以下としてください。

(2) デジタル静止画像 (AP部門)

- ア ビデオプロジェクターにより、パソコンからJPEG形式のデジタル静止画像(50画像以内 総容量は50Mb以内)を投影するものとします。
- イ ビデオプロジェクターを1台使用できます。
- ウ デジタル静止画像の投影は、発表校が行ってください。
- エ デジタル静止画像のデータはCD-Rにより提出してください。
- オ 静止画像のサイズは(800×600以上)1600×1200ピクセル以下としてください。

(3) 音声再生 (朗読部門・AP部門)

- ア MDには1作品分を再生順に録音したものとします。
- イ MDは標準モードで録音し、MDLPは不可とします。
- ウ MDのほかに、ディスクエラーの場合に備え、同じ内容のカセットテープも提出してください。
- エ 再生と音量調節は、台本に従って開催県が担当しますが、朗読部門に限り発表校で行うこともできます。

(4) ビデオ (VM部門)

- ア miniDV(DV規格は民生用)もしくはVHS(S-VHSも可)のテープに録音したものとします。ただし可能な限りminiDVにてご提出ください。
- イ テープスピードは「標準(SP)モード」とします。「長時間(3倍・LP)モード」は使用しないでください。
- ウ 音声は、「12bit stereo 1」「12bit stereo 2」「16bit stereo」のいずれか一つとし、ミックス再生は行いません。
- エ 作品本編の前後に20秒間の静止画によるテストパターン(形式は自由)を録画してください。
- オ 作品の再生は開催県が行います。

(5) 共通事項

- ア 著作権に関する権利者の許諾が必要な場合は、出場各校で所定の手続きをしてください。
- イ 各部門とも、提出作品はほかのコンクール等に参加していないものとします。

8 発表順

開催県事務局で決定します。

- 9 審査講評及び表彰**
- (1) 審査及び講評を、開催県で委嘱した審査員により行います。
 - (2) 各部門とも特に優れた発表・作品に優秀賞を授与します。また、部門の基準に照らして表彰に値すると認められた発表・作品に、特別賞を授与します。
 - (3) 講評会・表彰式は閉会式に先立って行います。
- 10 リハーサル** AP部門についてのみ、希望校は次の日程でリハーサルを行います。
- (1) 期 日 平成20年8月8日(金) 12:00~(予定)
 - (2) 場 所 伊勢崎市文化会館
- 11 交流会** 次のとおり生徒の交流会を行います。
- (1) 日 時 平成20年8月9日(土)・10日(日)
 - (2) 場 所 伊勢崎市文化会館
 - (3) 内 容 未 定
- 12 関係会議** 次のとおり放送専門部関係会議を行います。
- (1) 日 時 平成20年8月8日(金)
 - ア 都道府県代表者会議(各県1名) 14:00~16:00
 - イ 全国顧問総会 16:00~
 - (2) 場 所 伊勢崎市文化会館
- 13 参加校推薦書の送付** 各都道府県の高等学校(芸術)文化連盟または教育委員会の指示に従ってください。
- 14 作品及び台本の提出** 各都道府県単位で一括して送付してください。
- 15 その他** 詳細については、平成20年3月(予定)に送付する「参加要項」等でお知らせします。
- 16 事務局**
- 〒371-8570 群馬県前橋市大手町一丁目1番地1号
 群馬県教育委員会全国高等学校総合文化祭推進室内
 第32回全国高等学校総合文化祭 群馬県実行委員会事務局
 TEL (027) 226-4655
 FAX (027) 243-7785
 e-mail gunmasoubun@pref.gunma.jp
- 17 放送部門の問い合わせ**
- 〒370-0041 群馬県高崎市東貝沢町三丁目4番
 群馬県立高崎商業高等学校内
- 放送部門担当 はやし まさひろ
林 匡宏
- TEL (027) 361-7000 FAX (027) 364-6148
 e-mail housou2008@yahoo.co.jp

第5回関東地区高校放送コンクール 実 施 要 項

1. 名称 第5回関東地区高校放送コンクール
2. 主催 関東地区高等学校文化連盟（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨）
3. 後援 東京都教育委員会（予定）
東京MXTV（予定）
4. 主管 東京都高等学校文化連盟放送専門部会（予定）
5. 目的 （1）関東地区各高等学校放送部等に所属する生徒の資質向上を目指す。
（2）関東地区各高等学校放送部等に所属する生徒の交流を深め、お互いに学習を行う。
6. 参加資格 平成20年1月1日現在、各地区各高等学校の放送部等に所属する1年生または2年生およびその作品で、当該都県高等学校文化連盟放送専門部より推薦を受けたもの。
7. 日程

（1）参加申込・原稿提出	平成19年12月10日（月）	E-mail	各事務局
（2）作品提出	平成20年1月07日（月）	郵送	各事務局
（3）大会	平成20年1月12日（土）		
8. 部門
 - ①アナウンス部門
 - ②朗読部門
 - ③ビデオメッセージ部門
 - ④オーディオピクチャー部門
9. 内容及び規格
 - ①アナウンス部門
 - （1）郷土の話題を全国の仲間に伝える内容の自作原稿を作り、発表する。
校内の話題は不可とする。
 - （2）発表時間は、学校名、氏名を含めて1分30秒以内とする。
 - ②朗読部門
 - （1）郷土にゆかりのある作家及び作品の中から原文のままを一部選んで原稿とする。
 - （2）発表時間は、学校名、氏名、作者名及び作品名を含めて2分以内とする。
 - ③ビデオメッセージ（VM）部門
 - （1）郷土の話題を全国の仲間に伝える内容のビデオ作品とする。
 - （2）タイトルは副題を含めて15文字以内として下さい。
それ以上になりますとプログラムに印刷することが出来ません。
 - （3）作品の前後に静止画のテストパターンを20秒程度録画してください。
 - （4）発表時間はテストパターンを除いて5分以内とする。
 - （5）VHS（VHS・S＝VHS）方式または、DV（スタンダード・ミニ）方式で録画すること。
~~※8ミリは使用できません。~~
 - （6）テープスピードは、「標準（SP）モード」のみとする。
 - （7）音声については、次の通りとし「ミックス再生」など特別な再生方法は行なわない。
VHS方式では、「Hi-Fi」または「ノーマル」とする。
~~DV方式では、「16ビットステレオ」または「12ビットステレオ1」「12ビットステレオ2」のいずれか1つとする。~~

④オーディオピクチャー（AP）部門

- (1) 郷土の話題を全国の仲間に伝える内容とする。MDによるステレオ音声とj p e g形式の静止画像を併用する作品とする。
- (2) タイトルは副題を含めて15文字以内として下さい。
それ以上になりますとプログラムに印刷することができません。
- (3) ~~音声はカセットテープA面の最初から録音する。ステレオ録音のみ。ドルビー等のノイズリダクションは使用しないこと。~~
- (4) 発表時間は5分以内とする。
- (5) j p e g形式の静止画像は液晶プロジェクターからの投影とする。

10. 参加受付 平成18年12月10日（月）17：00まで

参加申込み書（様式-a）をE-mailで各都県事務局より下記主管の事務局まで送付して下さい。

事務局 東京都立八王子拓真高等学校内 石塚 弘
〒193-0931 東京都八王子市台町3-25-1
(TEL: 042-622-7563 FAX: 042-622-7564)
電子メールアドレス isizukades@k2.dion.ne.jp

1週間以内に事務局より各都県事務局へ参加受付証が送付されますので記載内容をご確認ください。送付されない場合は、事故等が考えられますので、事務局へ問い合わせください。

※ 各都県事務局で集約してお送り下さい。

11. 参加数

- ①アナウンス部門については各都県3名以内とします。
- ②朗読部門については各都県3名以内とします。
※アナウンス・朗読の両方に同じ生徒が参加することはできません。
- ③ビデオメッセージ部門については各都県1名作品以内とします。
- ④AP部門については各都県1作品以内とします。

12. 搬入

ビデオメッセージの作品（VHSテープ）及びオーディオピクチャーの音声（MDとカセットテープの両方）を、1月07日（月）までに上記事務局へお送りください。

13. 提出物

概要集を作りますので、〈様式b、c、d〉の内容を12月10日（月）まで主管の事務局へメールでお送り下さい。なお、様式b、c、dの内容があれば、形式は問いません。

※参加校毎の送付で結構です。

14. 大会

全部門の審査をおこないます。出場校以外も是非御来場下さい。

平成20年 1月12日（土） 9：30開場・受付

国立オリンピック記念青少年総合センター

センター棟 417 教室

小田急線参宮橋駅下車7分・地下鉄代々木公園駅下車10分

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3番1号

電話：03-6407-7701（代表）

15. 審査員

東京MXTV 他、各都県事務局が推薦する者
（予定）

7-2-3

16. 表彰 専門審査員及び教員審査員により審査を行い、
「最優秀賞」各部門1名、
「優秀賞」アナウンス・朗読各2名、番組1校、
「優良賞」アナウンス・朗読各3名、番組2校の賞を決め、表彰を行う。
17. 負担金 参加県はエントリー数に関わらず、一都県二万円とします。
18. 著作権処理について 参加作品に使用した著作物に関する著作権処理は、参加校の責任において行ってください。詳しくは、別紙をご覧ください。